

かえる倶楽部タイムズ

特集 「放射線治療によるがんの疼痛コントロール」

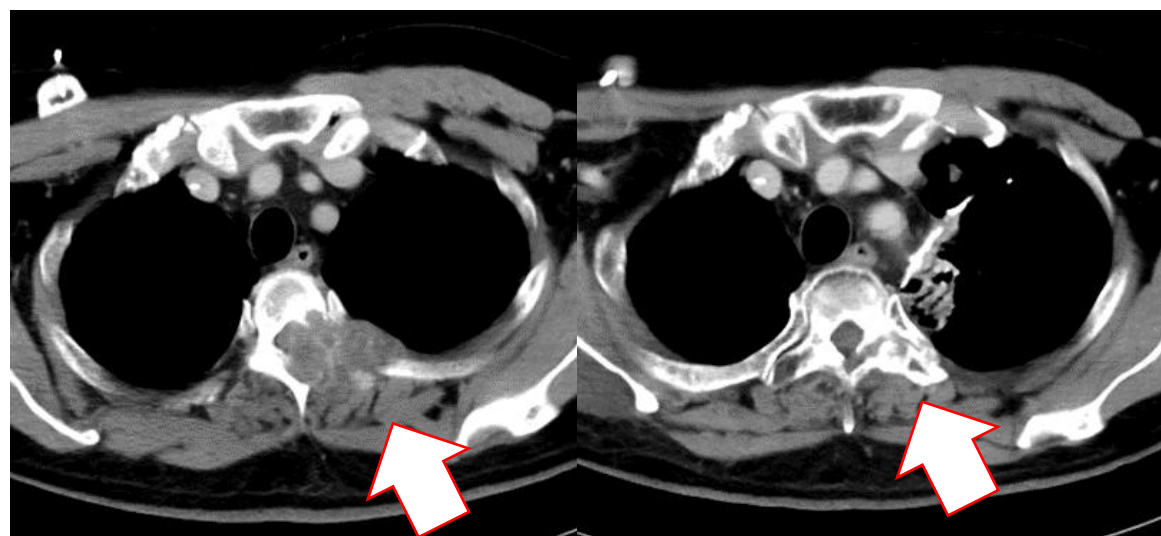
骨は、肺、肝に次いでがんの転移が多い臓器であり、脊椎、骨盤骨、肋骨など体幹部と四肢の近位骨に多く生じます。
 臨床的には、骨転移による疼痛、神経麻痺、病的骨折などが問題になります。

近年、鎮痛薬の進歩により良好な疼痛コントロールが得られることが増えていますが、放射線治療は原因療法であり可能であればなるべく考慮されるべきでしょう。

従来3Gy10回のスケジュールが広く行われていましたが、近年8Gy1回照射も同等の除痛効果があるされ、当院でも患者さまの状態や背景などにより外来入院いずれの場面でも積極的に考慮し実施しています。

下図のように脊髄腔に進展するような大きな転移巣も放射線治療により縮小し再石灰化が認められることも希ではなく疼痛コントロールだけでなくQOLの改善にも役立っています。

また当院では、前立腺癌の骨転移に対して放射性同位元素であるラジウム223を用いる核医学治療(内用療法)も保険収載当初から実施しています。



写真は40才代男性の胸椎骨転移(大腸癌原発) 当院症例

脊柱管内へ進展する骨転移(左)に対して、37.5Gyの放射線治療後約6ヶ月で溶骨部の再化骨と腫瘍の縮小を認めています(右)

関西電力病院
 放射線治療科
 部長 板垣 康



関西医科大学医学博士
 日本医学放射線学会 専門医・指導医(治療)
 日本核医学会 専門医
 日本医学放射線学会 日本放射線腫瘍学会、日本核医学会
 日本癌治療学会、日本ハイパーサーミア学会



リニアック(高精度放射線治療システム)

【連絡先】 平日 8:30~17:00、土曜日 8:30~12:00 地域医療連携室 (電話)06-7501-1406

上記以外の時間帯は、代表電話 06-6458-5821 へご連絡下さい。

お知らせ 「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

Facebook  <https://www.facebook.com/kanden.hospital/> 

Twitter  https://twitter.com/kanden_hsp 